

4歳児



サーキット遊びを、どんなふうにしようか、自分たちで考えながら、ものを出したり組み合わせたりしています。担任が少しアドバイスをしたり、最初にもものを出しておいたりもするのですが、そこからは自分たちで考えていきます。

最初は見ていた友達も、次第に加わって、一緒になってものを運んだり、ゴムを張ったりしています。

自分たちで作ったサーキットを、大事そうに見つめ何度も繰り返して遊ぶ姿が印象的でした。

4歳児



4歳児の子どもたちは、自分たちでも動物を作ってみました。

動物の特徴を、タブレットで見て確認しながら進めていきます。段ボールを組み合わせたたり色を塗ったり、2クラスの子たが入り交じって、素敵な動物のモニュメントが完成しました。当日是非お楽しみになさってください。

5歳児



5歳児は、夏祭りも経験し、自分たちが幼稚園の最高学年なんだ、リーダーなんだ、という気持ちが強くなってきているようです。日常の遊びの中でも、困っている年少組の子に「どうしたの？」と声をかけたりその子の担任の先生を呼びに行ったりする姿があります。

片付けの時に、3歳児や4歳児が洗ったままごと道具を、「これ持って行くよ。」と率先して片付けてくれる姿もあります。

ダンスや体操も、教師がデッキや小道具を運ぶのを手伝ってくれています。手を伸ばしたり、回したり、しゃがんだり・・・という様々な動きも、しっかりとできるようになりつつあります。当日も是非年長らしく堂々と踊ってくれるといいなと思っています。

5歳児は、運動機能がぐんと発達する時期で、ドッジボールを友達と楽しむ中でボールを片手で投げられるようになったり、両手でしっかりと受け取れるようになったりしてきます。

玉を的にめがけて投げ入れたり、友達とボールを挟んで落とさないように運んだりとこれまでにはなかなかできなかった動きができるようになってきます。

5歳児



これまで、登り棒や鉄棒など、様々なことに挑戦してきました。

その中にはリレーもあります。

子どもたちに、日常の遊びの延長でリレーを楽しめたらと、教師が、遊びの中でいろいろな学年で入り交じりながら、行ってきました。

「力を合わせる」という意識も少しずつ芽生えては来ていますが、取り組み当初は、優しい年長児たちは、“闘争心”のようなものはなかなか芽生えてきませんでした。勝つことに重きを置くわけではありませんが、みんなで力を合わせるためにはどうしたらよいか、どうしたら速く走れるかをみんなで考えていく過程が大切なのではないかと先生たちは考えました。

5歳児



リレーもいろいろ試行錯誤しながらやってみました。

先生が、子どもたちに、

「リレーはクラスみんなの力が必要なんだよ。走ることが苦手って思っている子も同じチームの子がいるから助けてくれるよ。」と話し、クラスだけでリレーをやってみたこともありました。

少しずつリレーの楽しさがわかり、みんなで話し合っチームを決めたり、どうすると速く走れるか、先生にも教えてもらいながら考えたりしています。

思いっきり手を振って走ること、バトンを落とさずつなぐこと…みんなで話し合ったことをそれぞれの子が意識しながら、自分の力を出し切って走っています。

当日も元気いっぱい走る姿を見ていただけたらと思います。

5歳児



加納幼稚園年長児の風物詩と過言ではない、肋木からのジャンプです。

肋木の上に立つのは大人でも怖いです。

自分の背よりも遙かに高い場所からジャンプをします。

とは言っても、やっぱり怖い気持ちもあります。

先生に体を支えてもらったり、友達に応援してもらったり・・・

練習するところをちょっとみんなに見られるのは恥ずかしいな・・・と先生とこっそり「秘密の特訓」をしている子もいます。

Aくんが、「すごいところを見に来て。」と園長先生を誘ってくれました。「秘密」という響きから、特別感があるのかもしれませんが、少しずつより高いところに挑戦しています。

「ちょっと怖いな。」「跳べるかな。」という気持ちを乗り越えて、当日はきっと元気いっぱい跳んでくれることと思います。

5歲兒



また、5歳児も、自分たちでモニュメントとなる動物を作っていました。

それぞれ、クラスで何を作りたいか話し合っ決めてました。

いちよう組は「ライオン」、さくら組は「ぞう」です。

どちらのクラスも「大きな動物を作りたい。」と自分たちで考えて決めました。

年長組の保育室の前を通ると、「先生、見て～。あれはエルマーだよ。」と教えてくれます。

これは何日もかけて、5歳児のみんなで作っていました。これまでになんとなくイメージしてきた「象」や「ライオン」も、実際にタブレットを見て、細かい特徴まで見ながら、できる限りそこへ近づけようと、段ボールを組み合わせたたり、新聞紙を丸めてくっつけたり、布を貼ったり色を塗ったり…

夏祭りの時に恐竜を作ったときの経験が、今回のモニュメント作りにも生かされています。

とても立派なモニュメントができあがっています。

こちらも当日を楽しみにしておいてください。



ありがとうございました。

子どもたちの思いがたくさん詰まった、親子ふれあいフェスティバル2(運動会)、是非楽しみにしててください。

今年度は、コロナの状況から、それぞれの学年が休憩もしながら全力で力を出し切れるよう、すべて競技制とさせていただきます。

また、保護者の方の参加も制限をしないことにしました。ただし、このフェスティバルで感染が拡大することのないように、各自の判断と責任でご参加くださるよう、お願いいたします。

ありがとうございました。